

みなみ公民館だより 4月号

(令和7年4月1日 発行) No.422

編集 蕨市立南公民館 蕨市南町2-23-19

TEL 048-442-4055・FAX 048-443-0761

第28回桜のまち南町文化展 無事開催！

第28回『桜のまち南町文化展』が、3月22日(土)・23日(日)に開催されました。

「誰でも参加できる美術展」では一般公募作品75点、「蕨市公募美術展 各部門受賞作品」では絵画・工芸・写真・書道部門の受賞作品を展示しました。「郷土の芸術家展」では、智内兄助・橋本太久磨・金子徳衛・岡田伊登子・織本亘・藤井誠・長谷秀雄・宇田要之助の各氏の作品を展示いたしました。毎年ご協力いただいている河鍋暁斎記念美術館からも、『『暁斎画談』で振り返る暁斎の逸話展』と題し出展いただき、豪華で活気のある作品展となりました。

23日の午後は「講演会 ～画家 智内兄助蕨面塾を語る～」と題し、画家 智内兄助氏・ゲスト・高松敬氏による対談が開催され、素晴らしいひと時を演出していただきました。

地域の皆様並びに関係者の皆さまの暖かいご支援とご協力により、無事終了することができました。心より感謝申し上げます。

また、出品してくださった皆様をはじめ、足をお運びくださった皆様に心より感謝申し上げます。

桜のまち南町文化展実行委員会・蕨市立南公民館

講座のご案内

◆小学生～高校生の点字入門教室

日時 4月12日(土) 10時～

場所 南公民館 2階団体連絡室

対象 市内の小学生～高校生

※登録制です。登録するには、事前にお申込みが必要です。

◆おはなしくまさん

日時 4月12日(土) 14時～

会場 南公民館 2階和室

内容 絵本の読み聞かせや工作
今回は「ストローをつかって」です。

◆親子でリトミック(前期)

日時 4月18日(木)・5月15日(木)

6月19日(木)・7月17日(木)

全4回 10時～

場所 南公民館 2階団体連絡室

対象 1歳～2歳までのお子さんと保護者

定員 8組(先着順)

申込 4月1日(火)～ 電話・メール可

◆0歳児ママのふれあい広場

日時 4月24日(木) 10時～

場所 南公民館 2階和室

内容 0歳児ママの成長ノート

定員 10組(先着順)

申込 4月1日(火)～ 電話・メール可

※下に敷くバスタオルをご持参ください。

◆高齢者学級 みなみ学園

日時 月1回 原則第4月曜日 13時40分～

初回は4月28日(月)です。

内容 初回は「健康けん玉教室」です。

場所 南公民館 3階集会室

対象 60歳以上の市内在住・在勤者

定員 25人(先着順)

申込 4月7日(月)～ 電話可

◆市長タウンミーティング(南公民館の回)

日時 4月13日(日) 14時～

場所 南公民館 3階集会室

内容 市の取組について市長がわかりやすくお伝えするとともに、市長との質疑応答・意見交換の時間があります。

花苗2鉢のプレゼントもあります！

蕨市立くるみ保育園・・・保育園にダンプカーが来たよ!

園長 加藤

3月の中旬、保育園の園庭に赤土を積んだダンプカーが来ました。子ども達は、「あっ!トラックだ〜」とすぐに気づき、窓からのぞき込んでいました。



子ども達を誘い、テラスに出ると大興奮!!ダンプカーの荷台が傾き、赤土が下りてくると拍手して喜んでいました。

ダンプカーを見送った後、早速園庭に出て赤土の感触を思いっきり楽しむ子ども達。これから、どんな遊びが広がるか楽しみです。

河鍋暁斎記念美術館 2025年4月展覧会

企画展 「暁斎・暁翠 能狂言画展」

同時開催 特別展「暁斎が描いた戯作本—江戸の名残から文明開化まで—」 展

※新型コロナウイルスの感染防止対策等により、予定が急に変更される場合がありますので、最新の情報は美術館のホームページでご確認ください。 <http://kyosai-museum.jp>

会期：2025年3月1日（土）～4月25日（金）

休館日：毎週火・木曜、毎月26日～末日、年末年始

入館料：一般 600円、高校生・大学生 500円、小・中学生 300円、65歳以上 500円

第1・2展示室では、4月も引き続き、^{きょうさい}暁斎と娘の^{きょうすい}暁翠による能狂言画展を開催中です。暁斎が小さなサイズの多色摺木版画に狂言の名場面を描いた錦絵シリーズの「狂言づくし」や、娘の暁翠が「^{まつかぜ}松風」と「^{はごろも}羽衣」という、どちらも優美な夢幻能^{むげんのう}を描いた肉筆の双幅掛軸など、多彩な能狂言画が展示されています。

また第3展示室では、130作以上の暁斎の挿絵本の中から「^{げさくほん}戯作本」を中心に、『^{せいよう}西洋道中^{どうちゅう}ひざくりげ^{うしやぞうだん}安愚楽鍋』など、教科書でもよく知られた作品の、特に有名な場面をパネル展示した特別展が引き続き開催されています。

【今月のお勧め作品】

狂言 ^{うりぬすびと}瓜盗人 暁斎（署名：惺々暁斎画／印：惺々） 紙本墨画淡彩 扇面 額装

本図は扇子から剥がして額装した作品で、狂言の「瓜盗人」の後場（後半）が描かれています。案山子^{かかし}に化けた畑主を本物の案山子と思い込み、罪人に見立てて、祭礼の出し物の稽古などをしてすっかり油断していた瓜盗人が、ついに畑主にとちめられるクライマックスシーンが描かれています。畑主が杖を振りかざした拍子に盗人が持っていた綱^{つな}が引っ張られ、思わずのけぞる姿に勢いが感じられます。

